

大規模国際スポーツ大会に係るキャンプ地誘致について

【調査の目的】

本県では、ラグビーワールドカップ2019（以下、「RWC2019」という）、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京2020」という）のキャンプ地誘致に取り組む自治体の誘致活動をサポートしています。

キャンプ地誘致をきっかけに、県民の皆様が世界のトップアスリートのプレイを直接見たり、選手と交流したりする機会を通して、スポーツ振興や観光振興など、さまざまな形で地域の活性化を図ることが期待されます。また、子どもたちにとっては、スポーツへの夢や希望を持つことにもつながります。

そこで、本調査では、県民の皆様の大規模国際スポーツ大会に対する認知度やキャンプ地誘致に期待することなどのご意見をお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

- ・ RWC2019 福岡開催や、東京2020大会の気運醸成のための事業等の企画立案の基礎資料として活用。
- ・ 大規模国際大会の開催やキャンプ地誘致を通じたスポーツ振興や地域の活性化に向けた政策立案の基礎資料として活用。

※ラグビーワールドカップ2019とは

2019年に日本で開催予定の第9回大会で、アジアでは初の開催です。9月20日の開幕戦を皮切りに11月までの間、全国12都市で開催されます。今年の5月10日に組分け抽選会（プールドロー）が開催され、日本は世界ランク3位のアイルランド、同7位のスコットランドと同組になりました。（世界ランクは2018年2月現在）

また、福岡県・レベルファイブスタジアムは大会会場の1つで、以下の対戦カードが決定しています。

2019年9月26日（木）16:45～ イタリア対敗者復活予選優勝チーム

2019年10月2日（水）16:45～ フランス対アメリカ

2019年10月12日（土）19:45～ アイルランド対ヨーロッパ・オセアニアプレーオフ1位

※東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とは

2020年7月24日から8月9日までの間、第32回オリンピック大会が東京で開催されます。また、8月25日から9月6日までの間、パラリンピック大会が開催されます。オリンピックでは33の競技が、パラリンピックでは22の競技があり、世界中の国と地域から選手が集まるスポーツの祭典です。

問1 2019年にラグビーワールドカップの試合が、福岡市のレベルファイブスタジアムで開催されることを知っていますか。

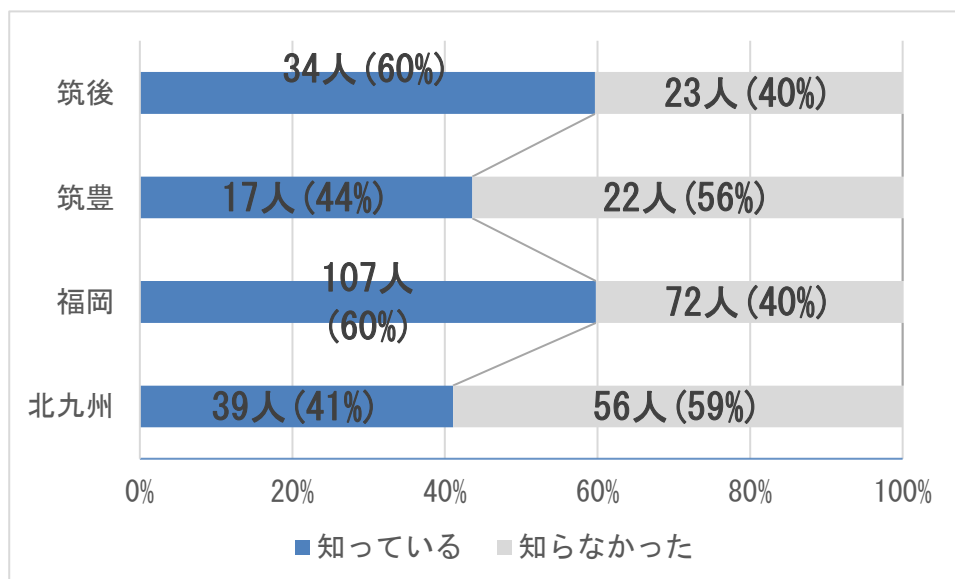
全体では、「知っている」方と「知らなかった」方がほぼ半数ずつとなった。

地域別では、福岡地域、筑後地域では「知っている」方が半数を超えているが、北九州地域、筑豊地域では「知らなかった」方の割合のほうが大きい。

【全体】

	人数	%
知っている	197	53
知らなかった	173	47

【地域別】



問2 福岡県では、RWC2019 に向けて、県民の皆様の気運を高めるためのイベントを実施しています。あなたは、どのようなイベントであれば、参加してみようと思いますか。(複数回答可)

全体では「無料である」(44%)が最も多く、次いで「自宅に近い会場で開催される」(41%)、「体験ブースや、スポーツ教室など、参加体験型である」(31%)と続いている。

地域別では、他地域に比べ、筑豊地区では「有名なゲスト(スポーツ選手や芸能人)が来て、交流できる」の割合が高い。

(%)

		サンプル数	無料である	自宅に近い会場で開催される	体験ブースや、スポーツ教室など、参加体験型である	出店や屋台、物産展などの出店がたくさんある	有名なゲスト(スポーツ選手や芸能人)が来て、交流できる	日本代表の試合をパブリックビューイングすることができる	親子で参加できる	その他
全体集計		370 人	44	41	31	29	26	19	16	3
地域別	北九州地区	95 人	45	49	28	22	24	21	18	2
	福岡地区	179 人	45	35	28	34	23	21	17	3
	筑豊地区	39 人	41	36	36	31	38	15	10	0
	筑後地区	57 人	37	47	40	23	28	11	18	5

《その他(抜粋)》

- ・クイズ大会やパブリックビューイングなど、参加したり体験したりすることができるイベント(類似3件)
- ・ラグビーに関する基礎知識や情報(ルール解説や豆知識なども含めて)を分かり易く説明してくれる。(類似2件)
- ・興味がないので参加しようとは思わない。(類似3件)

問3 東京2020に向けて、出場国が福岡県の各地で事前のキャンプを行います。あなたのお住まいの地域で事前キャンプが行われるとしたら、どんなことを期待しますか。(複数回答可)

全体では「お住まいの地域のみんなで、東京2020に出場する選手を応援したくなる」(35%)が最も多く、次いで「姉妹都市交流や留学生との交流など国際交流活動が推進され、訪れる国への理解や交流が深まる」(32%)、「訪れる国のトップアスリートや有名選手と交流することができる」(31%)と続いている。

地域別では、他地域に比べ、北九州地域・筑後地域では「観光客やキャンプの見学者がキャンプ地を訪れ、経済が活性化する」の割合が高く、筑豊地区では「お住まいの地域でスポーツ施設が新設・改修され、スポーツが盛んになる」の割合が高い。

(%)

		サンプル数	お住まいの地域のみんな で、東京2020に出場 する選手を応援したくなる	姉妹都市交流や留学生との 交流など国際交流活動 が推進され、訪れる国への 理解や交流が深まる	訪れる国のトップアスリート や有名選手と交流する ことができる	観光客やキャンプの見学者が キャンプ地を訪れ、 経済が活性化する。	お住まいの地域でスポーツ施設 が新設・改修され、 スポーツが盛んになる	今までに見たり、体験したりし たことがない新しいスポーツに 触れることができる	障がい者スポーツ普及のための イベント開催や環境整備が すすめられる。	お住まいの地域の全国への 知名度が上がる	その他
全体集計		370人	35	32	31	27	25	24	16	14	3
地域別	北九州地区	95人	37	32	27	36	20	27	12	16	0
	福岡地区	179人	33	34	34	22	25	24	18	10	4
	筑豊地区	39人	36	36	26	23	33	28	13	18	3
	筑後地区	57人	35	25	32	30	26	18	18	18	4

《その他(抜粋)》

- ・渋滞緩和のため主要道路の車線が増えたり、新たに道路を建設したりしてほしい。
- ・全く興味がないので何も期待しない。(2件)
- ・出来るだけ経費がかからないようにしてほしい。
- ・積極的に子供たちに色々な体験をさせて世界の広さや夢を持つきっかけを作してほしい。
- ・事前キャンプ後も関連団体が継続使用出来るよう継続的な活動を期待する。
- ・マナーや秩序を守ってほしい。

問4 あなたのお住まいの地域で、RWC2019 や東京 2020 の事前キャンプがされ、本大会が終わった後に期待することはなんですか？(複数回答可)

全体では、「合宿で使用した施設、設備を活用して、地域の方々がスポーツをする機会が増え、スポーツが盛んになる」(51%)が最も多く、次いで「子どもたちの交換留学や、出場選手やチームとのスポーツ交流など、キャンプで訪れた国との交流が継続される」(38%)、「観光資源が新設されたり、掘り起こされたりし、国内外からの観光客が増え、地域経済が活性化する」(29%)と続いている。

地域別では、他地域に比べ、北九州地区・筑後地区では「事前キャンプで使用した施設、設備を利用して、国内外のスポーツチームが継続的に合宿施設を利用する」の割合が高く、特に筑後地域では、「観光資源が新設されたり、掘り起こされたりし、国内外からの観光客が増え、地域経済が活性化する」の割合が高い。

(%)

		サンプル数	合宿で使用した施設、設備を活用して、地域の人たちがスポーツをする機会が増え、スポーツが盛んになる	子どもたちの交換留学や、出場選手やチームとのスポーツ交流など、キャンプで訪れた国との交流が継続される	事前キャンプで使用した施設、設備を利用して、国内外のスポーツチームが継続的に合宿施設を利用する	観光資源が新設されたり、掘り起こされたりし、国内外からの観光客が増え、地域経済が活性化する	大会に出場した選手が地域を訪れ、スポーツ教室や子どもたちへのオリムピックに関する授業や講義をしてくれる	障がい者スポーツ普及のためのイベント開催や環境整備がすすめられる	その他
全体集計		370人	51	38	30	29	26	20	3
地域別	北九州地区	95人	55	33	39	29	25	15	2
	福岡地区	179人	51	40	26	28	26	23	4
	筑豊地区	39人	51	41	21	26	33	23	3
	筑後地区	57人	46	37	35	35	26	18	2

《その他(抜粋)》

- ・事前キャンプに使用した施設が、将来的にも有効利用できるようにしてほしい。(類似3件)
- ・事前キャンプに使用した施設が、維持費や管理費などで財政圧迫・税金の無駄使いにならないようにしてほしい。(類似2件)
- ・スポーツへの関心・興味が増す。(類似2件)